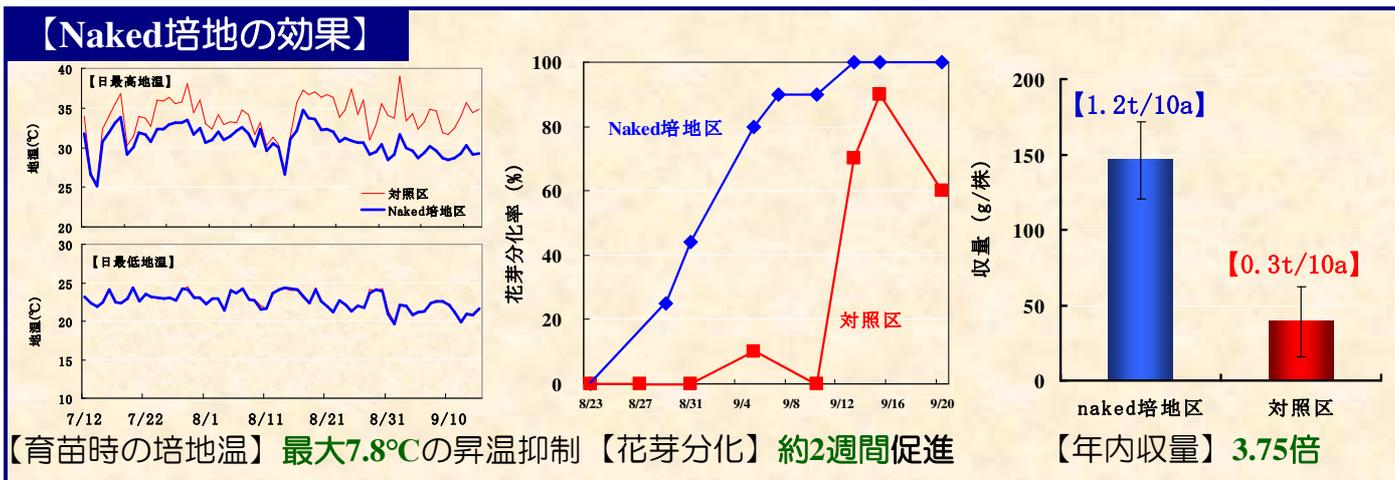




Naked培地による気化潜熱を利用した イチゴの年内収量の増加技術

◆一季成りイチゴの年内収量の増加を目指し、Naked培地の利用により培地の気化熱を奪い育苗時の培地温度の昇温を抑制することで花芽分化を促進する育苗技術を開発中です。

- ◆ 11~12月のイチゴの販売単価は、クリスマス需要等により高いため、年内収量の増加が所得の向上につながります。
- ◆ 年内収量の増加のためには、晩夏の育苗時期の低温により花芽分化を促し、その後の開花および収穫を促進する必要があります。
- ◆ そこで、Naked培地を利用し、培地から積極的に気化熱を奪い、培地温度の昇温を抑制する育苗技術を開発中です。
- ◆ 【目標値】
花芽分化時期：従来より14日促進
年内収量：従来約3.5倍 (0.4 t → 1.4 t / 10a)



- 【今後の展開】**
- ◆ Naked培地苗に適した肥培管理、灌水管理などの育苗管理技術を検討します。
 - ◆ 翌年の収量も加えた総収量とNaked培地導入効果を検証します。
 - ◆ 企業と連携してNaked培地の低コスト化と実用化を目指します。